



大砂土中だより

はっ らっ
澆 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.5 平成28年8月29日号

2学期の成長のために

校長 清水 一司

日中はまだまだ夏を感じさせる暑い日がありますが、朝夕の風にはわずかに秋の気配が感じられるようになりました。学校は夏休みが終わり、活気を取り戻したところです。この夏休みは、学校総合体育大会で水泳部と陸上部が全国大会へ出場したのをはじめ、柔道部が関東大会出場、男子バスケットボール部が県大会4位となるなど、昨年以上に生徒たちの活躍が光りました。このように輝かしい成績を収めることができたのは、生徒たちが唯一全国まで続くこの大会で勝利することを目標に据え努力してきた結果と言えます。生徒たちには、本校で部活動に打ち込んだことに自信をもってもらいたいと思います。

さて、この夏はリオデジャネイロオリンピックで過去最多となるメダルを獲得した日本人選手の活躍が大きな話題となりました。夜中から早朝にかけて地球の裏側から届く記録達成の瞬間や勝利の瞬間を目撃しようと、寝不足気味の毎日を送った方もいらっしゃるのではないでしょうか。4年に一度だけのオリンピックで勝利することを目標に、極限まで体を鍛え、技を磨き上げてきた選手の姿に、感動を覚えた方は少なくないと思います。

もう一つ、この夏はアメリカのメジャーリーグで活躍するイチロー選手が、リーグ史上30人目となる3000本安打を記録したことも大きな話題となりました。27歳で海を渡ってから16年目での偉業達成です。言葉も習慣も異なる地で高いパフォーマンスを発揮し続けるために、様々な苦しみがあったであろうことは容易に想像できます。イチロー選手の素晴らしさは、どのような状況にあっても常に成長しようと真摯に野球に向き合い続けているところにあると私は感じています。イチロー選手の野球に向き合う姿勢には、「人はどこまで成長できるのか」「私は全力を尽くしているのだろうか」と自身を反省させられることが多くあります。

今日から2学期が始まります。活動しやすくなるこれからの時期は、生徒たちの大きな成長が期待できるときです。しかし成長するためには、明確な目標をもち、努力を重ねることが大切になります。これは、大会で勝利することを目標に据え努力することを学んだ生徒たち、オリンピックで活躍する選手の姿を目の当たりにした生徒たちであれば実感を伴って理解できると思います。もしも目標をもたずに、ただ漫然と学校生活を送るだけになったとしたら、自らの成長に気づくことができなく、何も成果をあげることができないでしょう。イチロー選手も「今自分にできること、頑張ればできそうなこと、そういうことを積み重ねていかないと、遠くの大きな目標は近づいてこない。」と言っています。